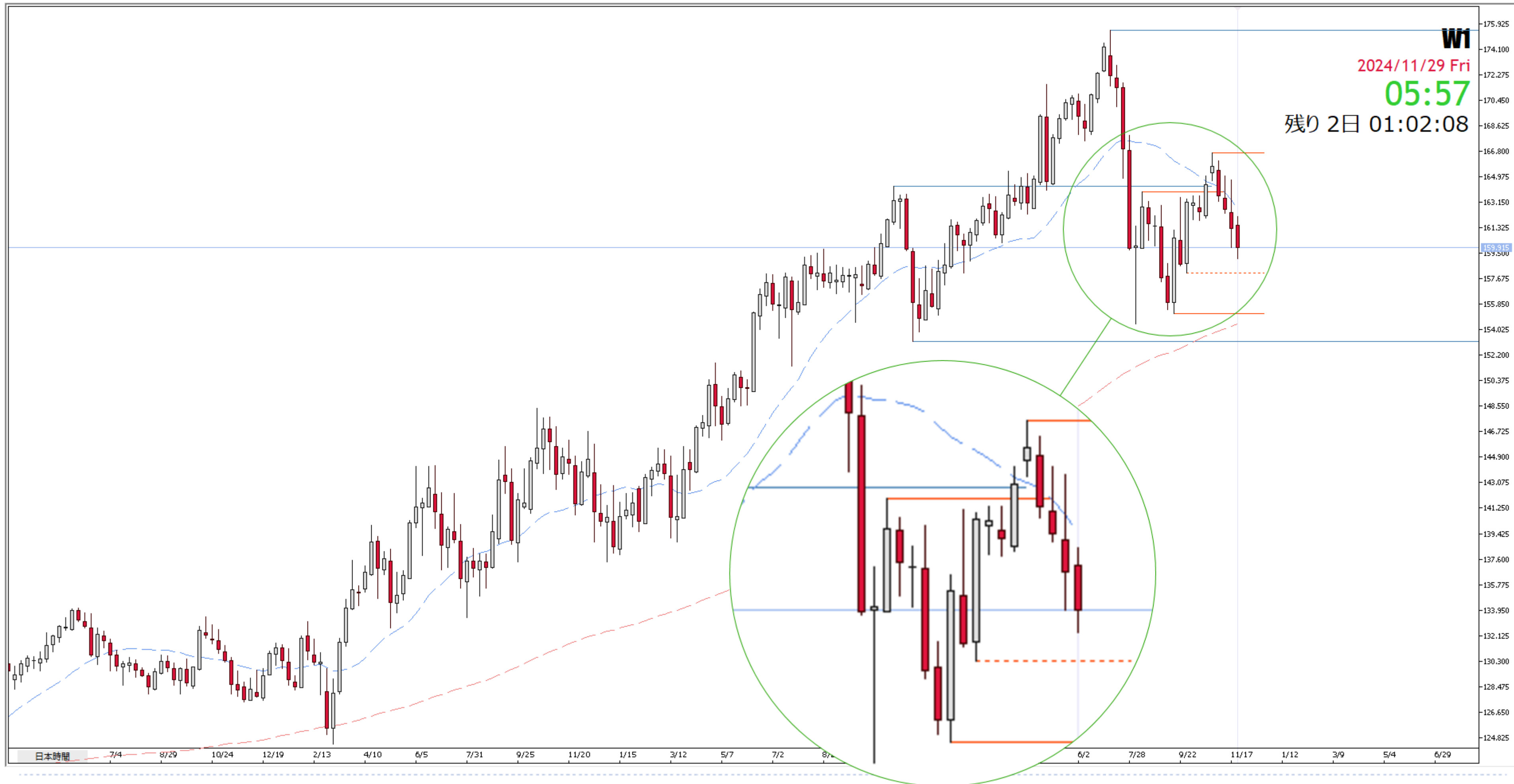


TITLE: 2024年第48週振り返り

カテゴリ 振り返り

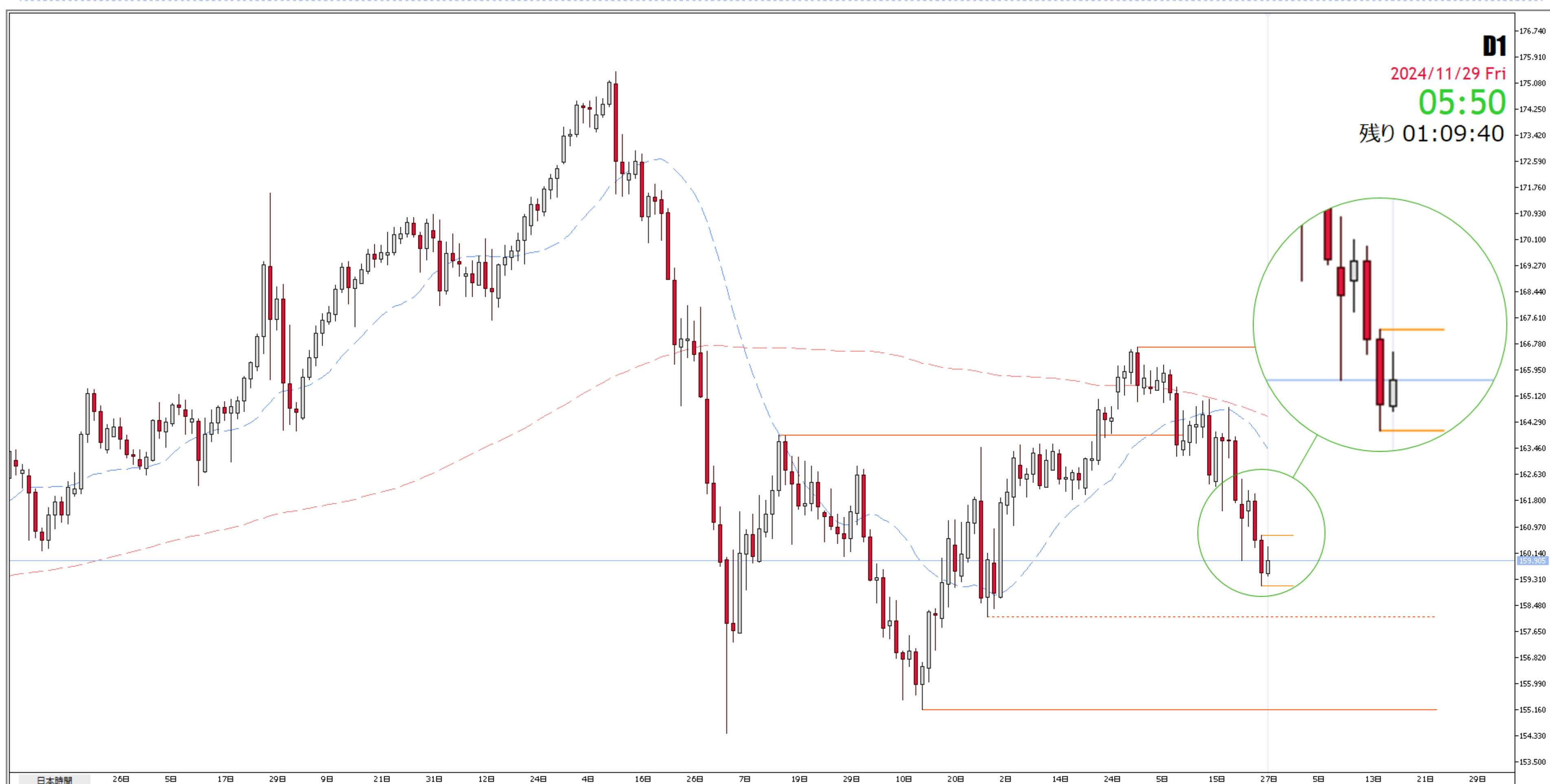
SUB: 長期足

DATE



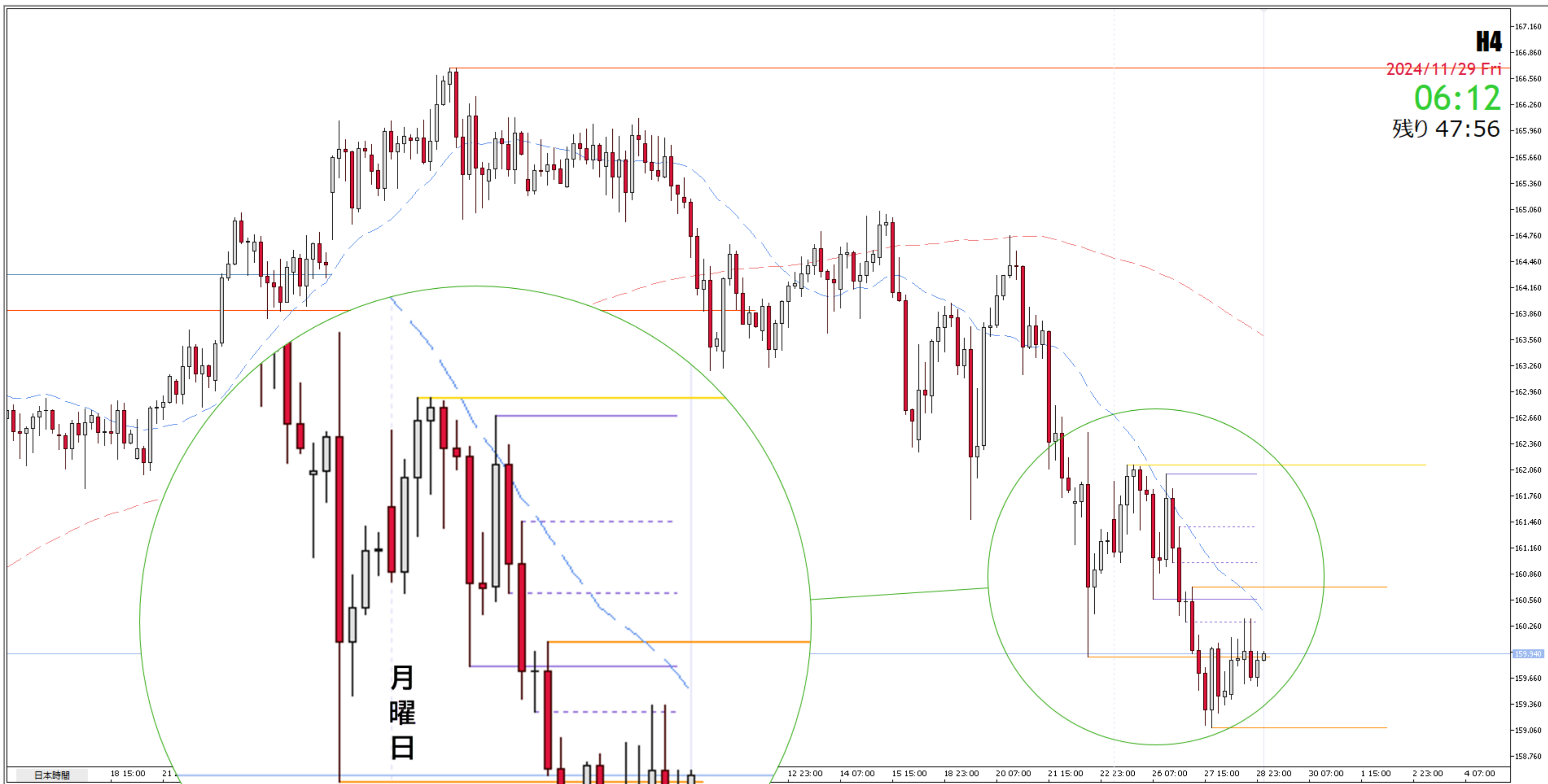
### ■週足

先週が強い陰線でサポートに刺し込んできた状態だった。今週はそれに続いて続落となる陰線が出現した。まだ金曜日が始まっていないので確定足ではないが、もしサポートを抜けると一旦の目標は達成という形になりそうだ。



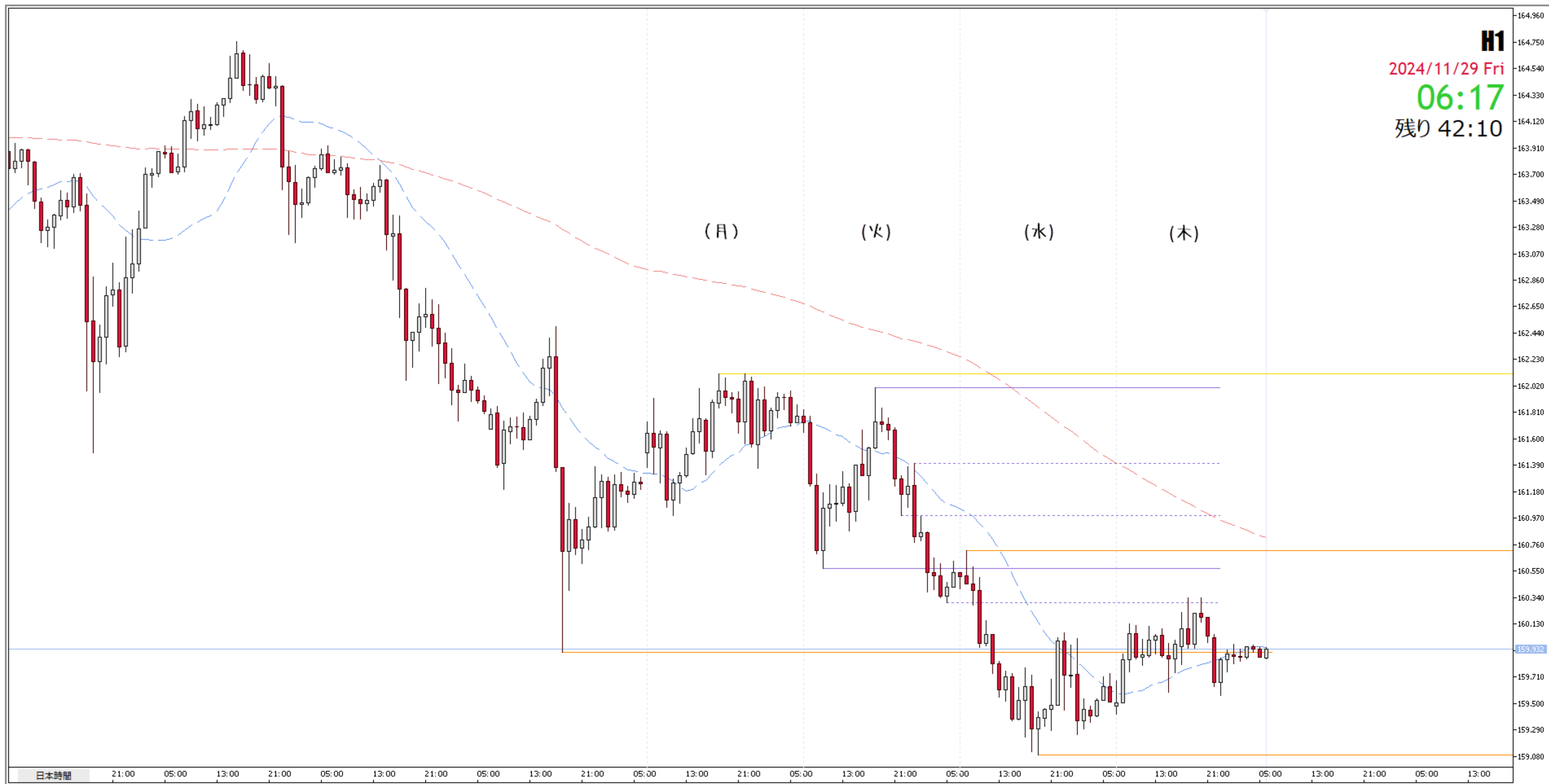
### ■日足

先週の金曜日、サポートに刺さって反発して引けていた。月曜日はその反発の続きで上げ基調だったが、(火)(水)と大きく下落した。木曜日は再び反発、火曜日の安値がレジスタンスとなって水曜日の陰線にはらまれている状態だ。今日は月末相場なので、ひとまず水曜日の陰線の高安どちらかを抜けることができるのかに着目している。



### ■4時間足

先週の金曜日にできた大陰線にはさまれた状態からのスタートだった。開幕上昇から始まっが、結局陰線の高値は越えられずに反落。安値更新で下降トレンドが継続する形となり、現在進行中だ。



### ■1時間足

月曜日は短期上昇トレンド。火曜日は強い売りが入ったことで、この売りに対する戻り売りと、月曜日の上昇に対する押し目の両方の可能性が考えられた。水曜日は方向が下に決まった後なので売りから始まったが、また短期に反発の買いが入ってきたので、売り買い両方の可能性を考慮。木曜日は短期上げ基調が勝ち調整の上げという感じだった。

TITLE: 2024年第48週振り返り@月曜日

カテゴリ  
振り返り

SUB: 2024/11/25(月)振り返り

DATE



## ■月曜日@10分足

①の下落に対する戻り売りがメインのシナリオだったが、既出している上昇トレンドの波②-③に対して安値がサポートされるならまずは買いで攻めていけた。ポイントは安値②付近まで差し込んだ①の動き。②-③の波の中にできた下降トレンドを転換させた後のポイント②。高値③更新後に押してきた波の戻り売りをかわしたポイント③。更に再度高値を更新してサポートまで降ってきたポイント④。そして高値更新に失敗して反落した波④となる。詳細は動画レポートで解説するので、ここでは④発生後が難しくなる理由だけ述べておく。

### 波④発生後のチャートが難しくなる理屈

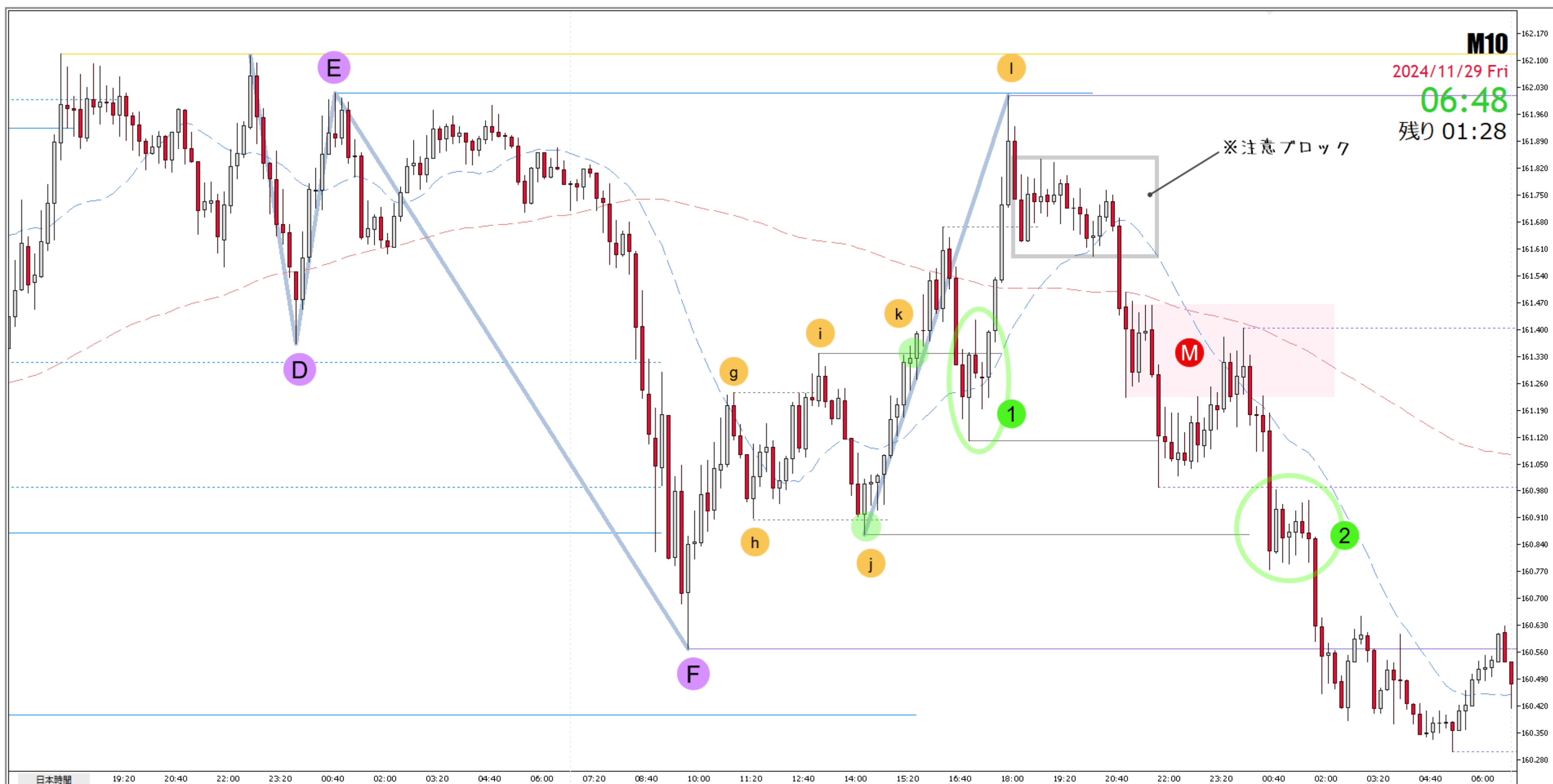
それまで下落①の中で調整として上げ基調だった値動きも、高値③更新後の高値更新幅は弱く、いつ終わってもおかしくはない状況だったところ、いよいよ高値更新に失敗した波④が発生した。この波は完全に下を向いている波なので、上昇トレンドを継続させたい勢力と2度突きの高値から落としたい勢力が戦うことになるため、トレンド転換の可能性が高まってきたと言える。このため、買いの形が出てそれが騙しとなって下げに転じる考えが強くなり出してしまう。よって、わたしはこれ以降は静観とした。

TITLE: 2024年第48週振り返り@火曜日

カテゴリ 振り返り

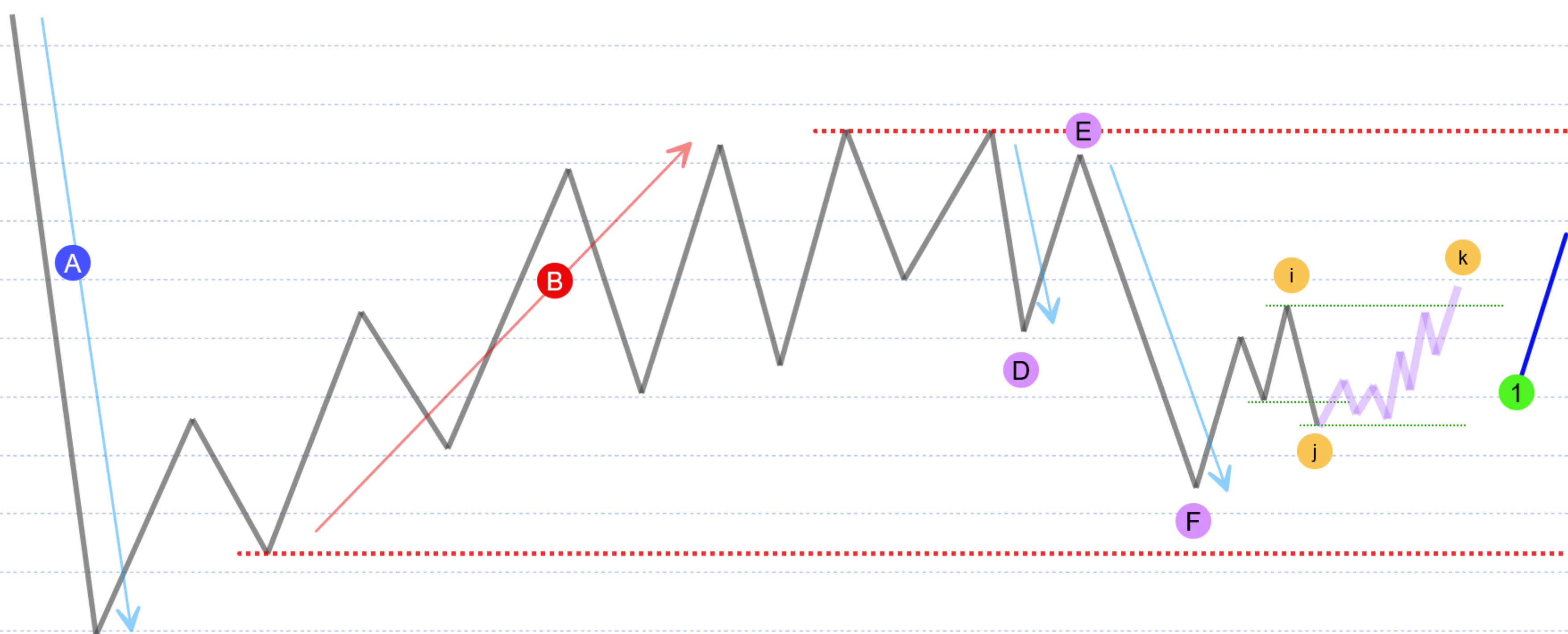
SUB: 2024/11/26(火)振り返り

DATE



### ■火曜日@10分足

ポイントがありすぎて解説が大変だが、ぜひついてきていただきたい。まず月曜日に発生した下向きの波①後、高値更新に失敗して強い下落が生まれた。しかし安値②の位置もまだ上昇トレンドの最下段の安値を割っていないため（下図で説明）押し目が入ってくることも考えられた。逆にどちらかと言われればまずは買いから攻めてみたい。ポイントは③④⑤⑥⑦の動きとなる。上昇トレンド②-③-④-⑤の安値④を切り下げた安値⑥が表れたとき、ダウ理論だけでいうとこの右側では売りが誘われる形となる。②-③を見て売りだと判断したトレーダーたちはこの波④-⑤に対して単純に戻りを売ること考える。しかしまずは買いからと見ることができていたトレーダーたちはこの波の戻り売りが失敗していく可能性が高いことを知っているのだ。ここがトレードで成功できるかどうかの別れ道だとわたしは考えている。



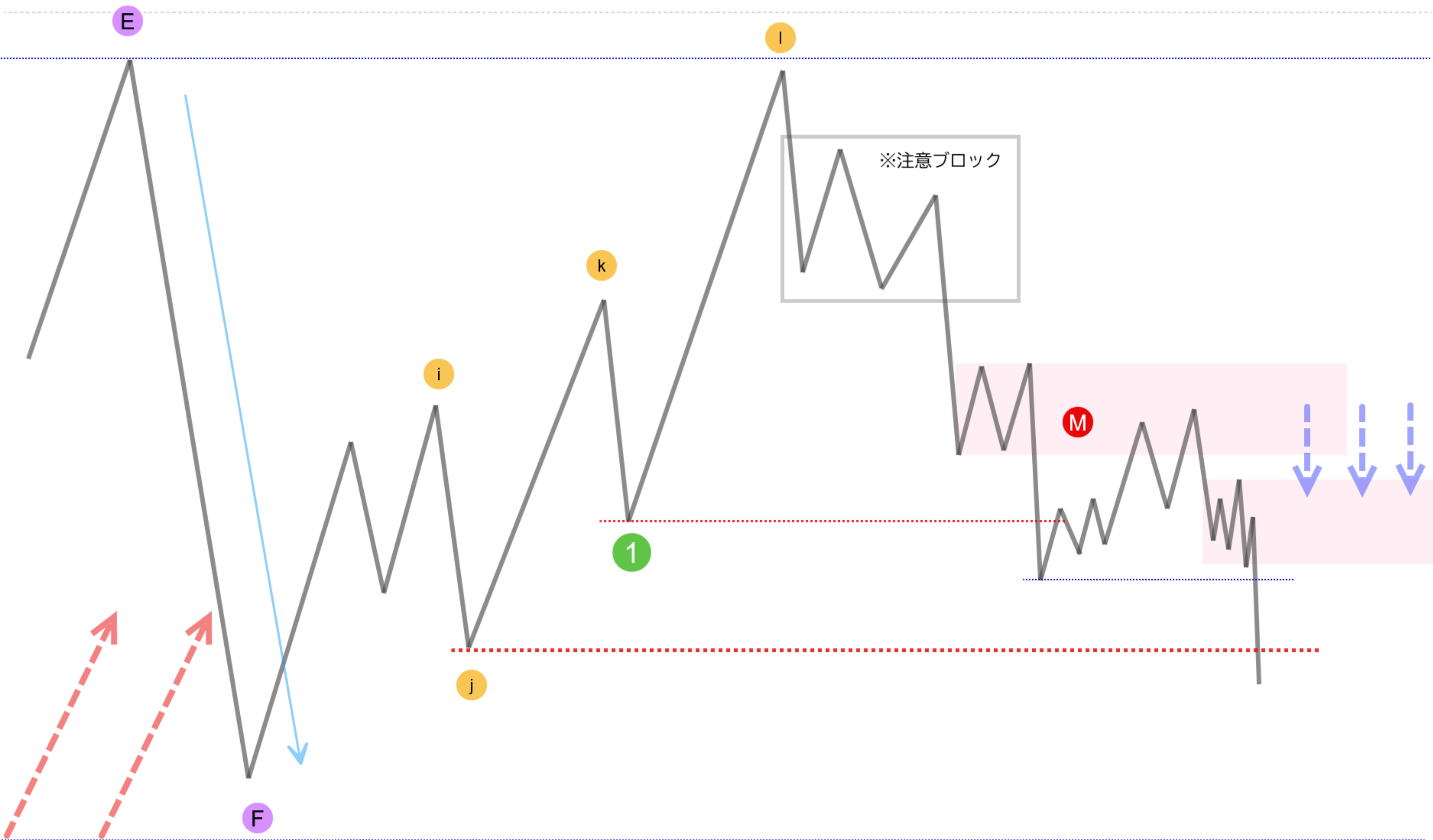
②に対して下目線が主だが、③の上昇トレンドが継続していた。この波の根元が崩れない限りはそれ以上、下げることはできない。また②-③の戻りが一度失敗する可能性も高くあり、その動きしだいでは一旦買いから入り、その後の様子を見たいところ。④-⑤が発生すれば⑥の押し目は積極的に狙っていける。

TITLE: <b>2024年第48週振り返り@火曜日</b>	カテゴリー 振り返り
SUB: 2024/11/26(火)振り返り②	DATE

## ■注意ブロック

①の押し目が成功し、調子によってロングロングロングで目線を固定してしまっただけではない。注目すべきは高値①が高値⑤を更新できなかったことだ。この時既に下降の流れが始まっていることを忘れてしまっていると、注意ブロックのような位置でロングを仕込み、高値掴みとなって大負けしてしまうことになる。早めに損切りすれば済む話ではあるが、諦めざるを得ない安値が遠いのでナンピン爆死の可能性が高くなる。

いずれにせよ、トレンドの階段上げは損切り幅が大きく失敗する可能性も高いので気をつけたいポイントになる。やはり待つべきポイントはサポートブロックであり、そこでの値動きに着目することを強く推奨する。分かりやすいポイントなので検証もかけ易い。



次に注目してほしいのが安値①のブレイクになる。わたしはこの安値が割れてもまだ上の可能性が残っており、レジスタンス④は越えるんじゃないかと踏んでいたため、ここはロングで攻めていた。しかしどうもレジ④を越えることができそうにない動きとなってきた時に違和感を察知し、高値⑤、①から落ちるといって「元々の、下落④の流れに回帰していく」ことが濃厚と判断。安値①が割れた後は積極的に売りで攻めていった。この辺りの解釈はまったく個人の自由であり、安値①割れで既に「もう上がれない」という判断を下せたならそれはそれで正解だと思う。わたしは買い目線ですべてチャートを見てきてしまったので、こういったギリギリのラインでは買いを優先させて見る癖がついている。しかしこのことによって何らかの弊害が生じるようなことはなく、常に同じ判断を下せる根拠と基準さえ持ち合わせていれば、何ら問題はないのである。大切なのは自分の中にしっかりとした基準が作られているかどうかである。

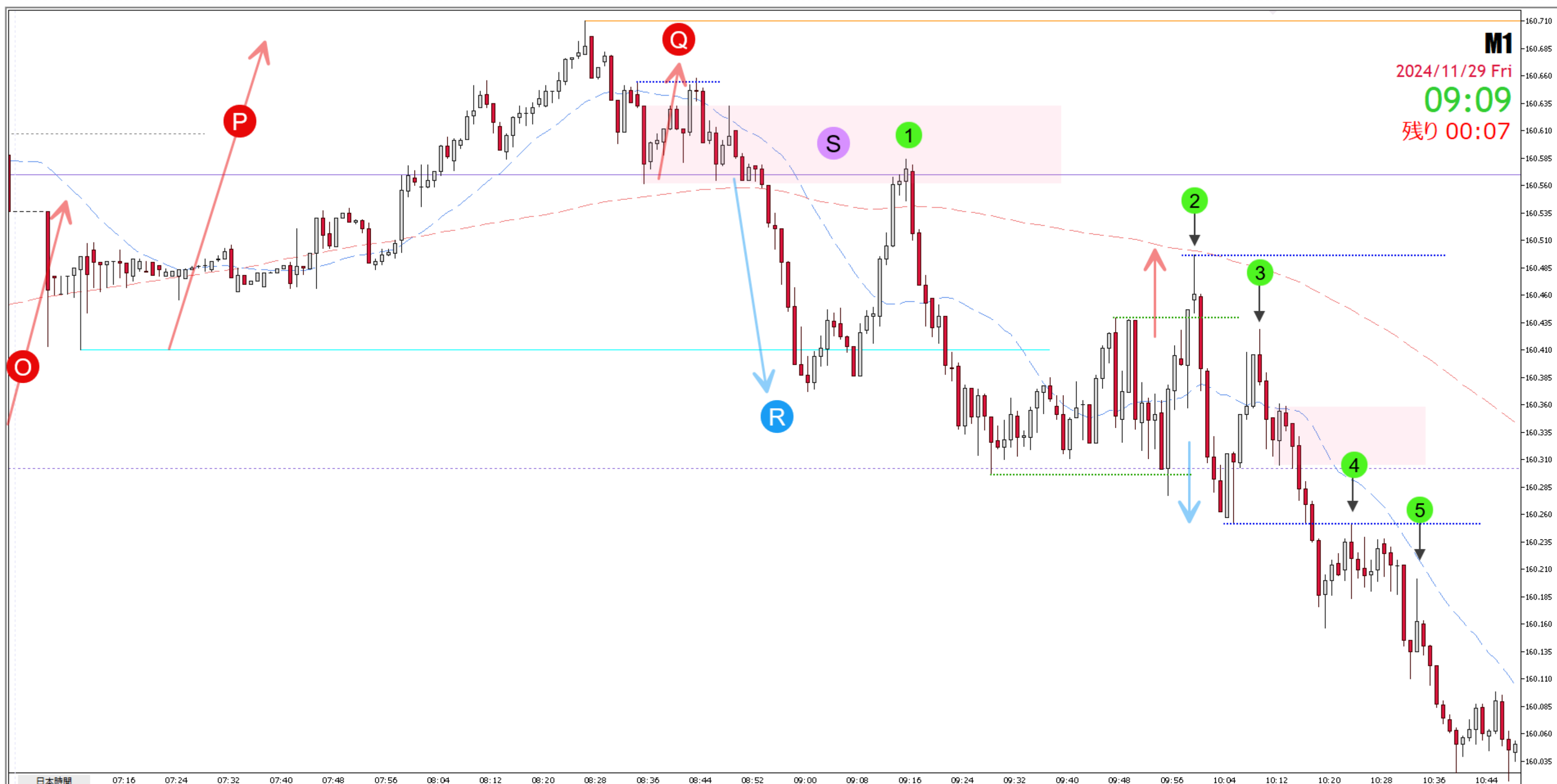


### ■水曜日@10分足

①がレジとして機能した後は下落基調一辺倒となり、長期足で確認できる安値を目指す展開となった。

ここも話したいポイントが山ほどあるが、さすがに全部解説している時間はないので、①だけ短期足を覗いていこうと思う。

### ー ポイント①の1分足 ー

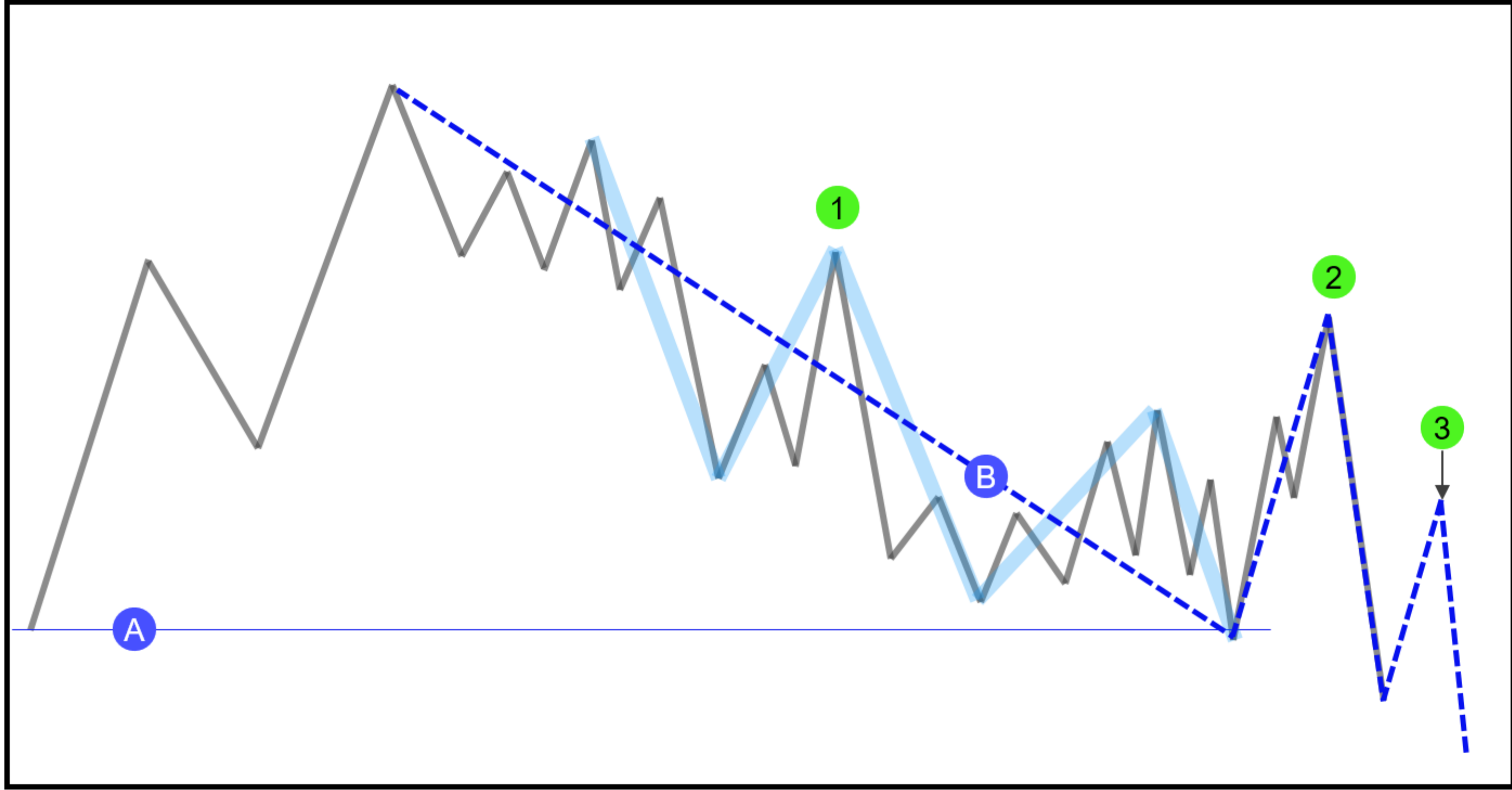


①とレジ②に戻ってきた波。この①に対しての押し目③が失敗してできた流れ④の戻り目を狙ったのが⑤。分かりやすいレジスタンス⑥は絶好の売り場となった。その後下降トレンドが形成されたが一回目の戻り売りは成功後すぐに転換してしまっている。この辺りの考え方は結構重要なポイントなので、次ページで詳細を解説していく。

TITLE: <b>2024年第48週振り返り@水曜日 2</b>	カテゴリー 振り返り
SUB: 2024/11/27(水)振り返り 2	DATE



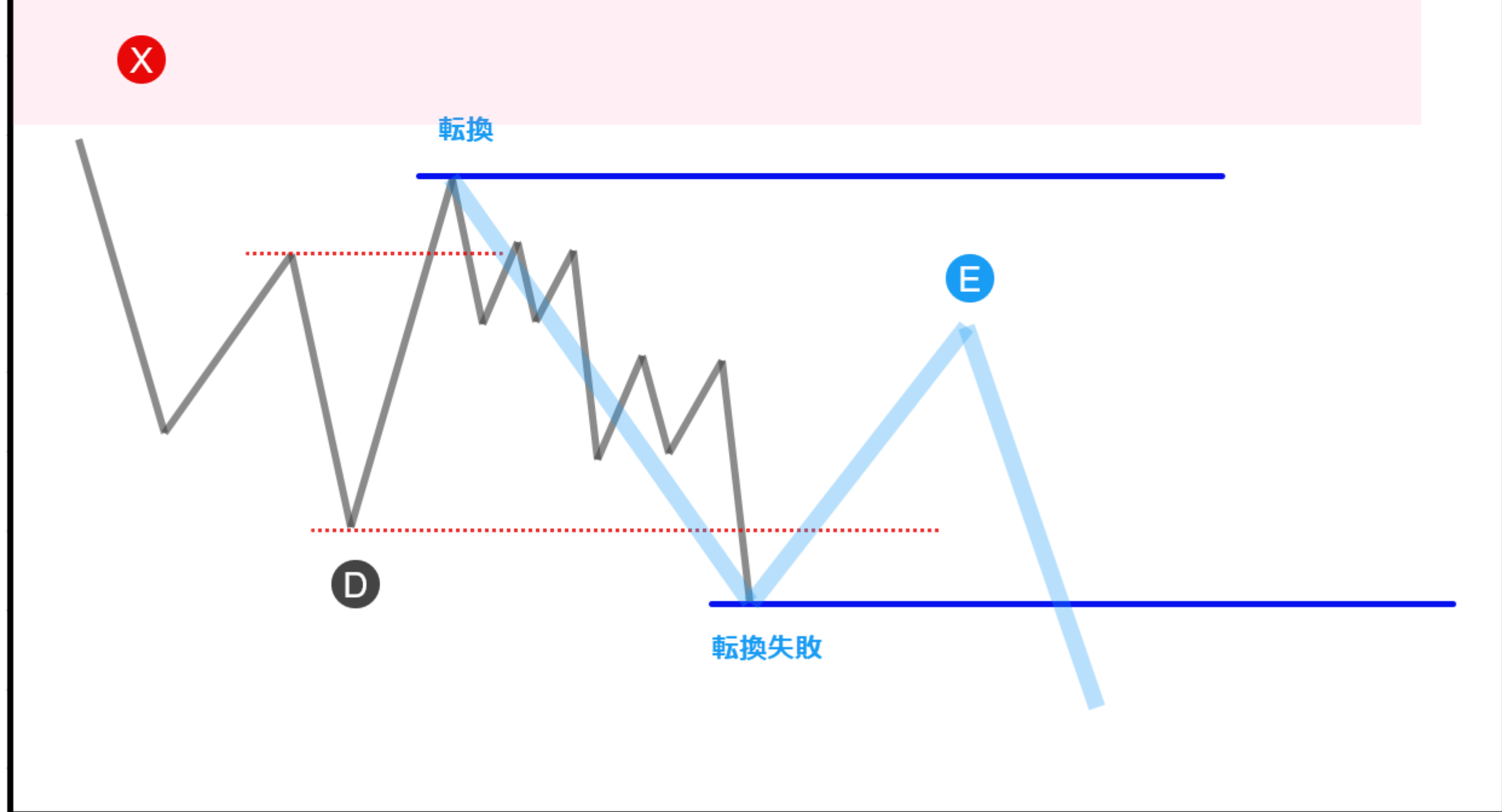
ある程度時間が経過し、空間ができた高安を、わたしは大きな安値とか大きな高値と表現する。こういった誰もが見てとれる高安が更新される際は大概、短期足ではトレンドが形成されていることが多い。今回も然りだ。



こういった場合、トレンドは一波とカウントできるので、戻りが狙われる波は③となる。よって、損切りを②に置いたトレンド継続狙いの戻り売りは負け易くなる。この考え方はしっかりと覚えておくことをおすすめする。

また、③の戻り売りは上位足の目線が下だった場合、青破線のトレンドが継続する可能性は高いと言える状況なので、積極的に売っていきたいポイントになってくる。

■ 転換 → 転換失敗



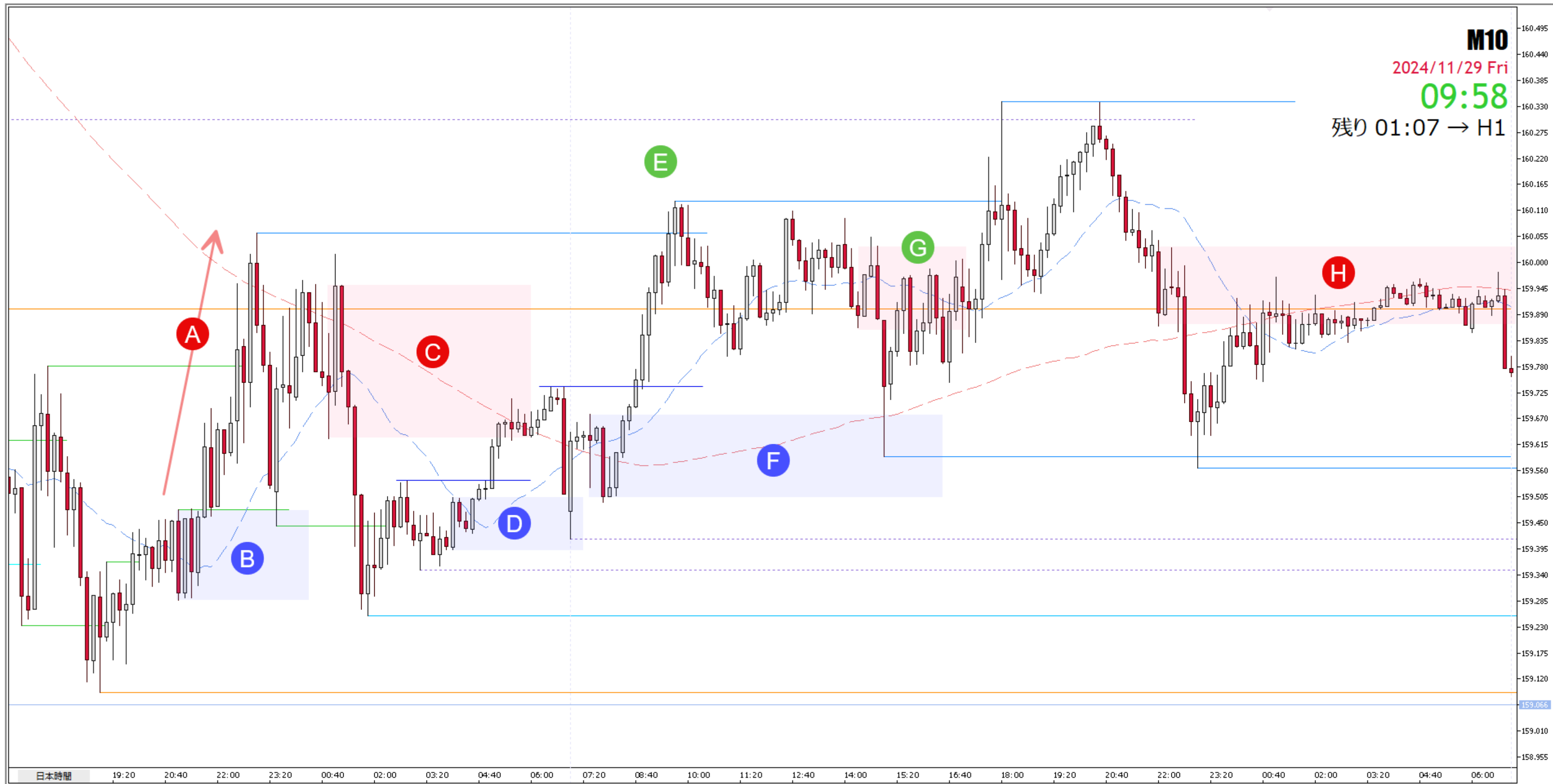
トレンドをフォローしていく上でかかあせないエントリーパターン、「転換」→「転換失敗」は見つけたら必ずチェックしておくとい。これはローソク足でいえばツツミ足であり、波でいうとツツミ波と定義している。例えば②が上昇の押し目ポイントであり、③がレジスタンスだった場合、④を売っていきける根拠にもなり得る。

TITLE: 2024年第48週振り返り@木曜日

カテゴリー 振り返り

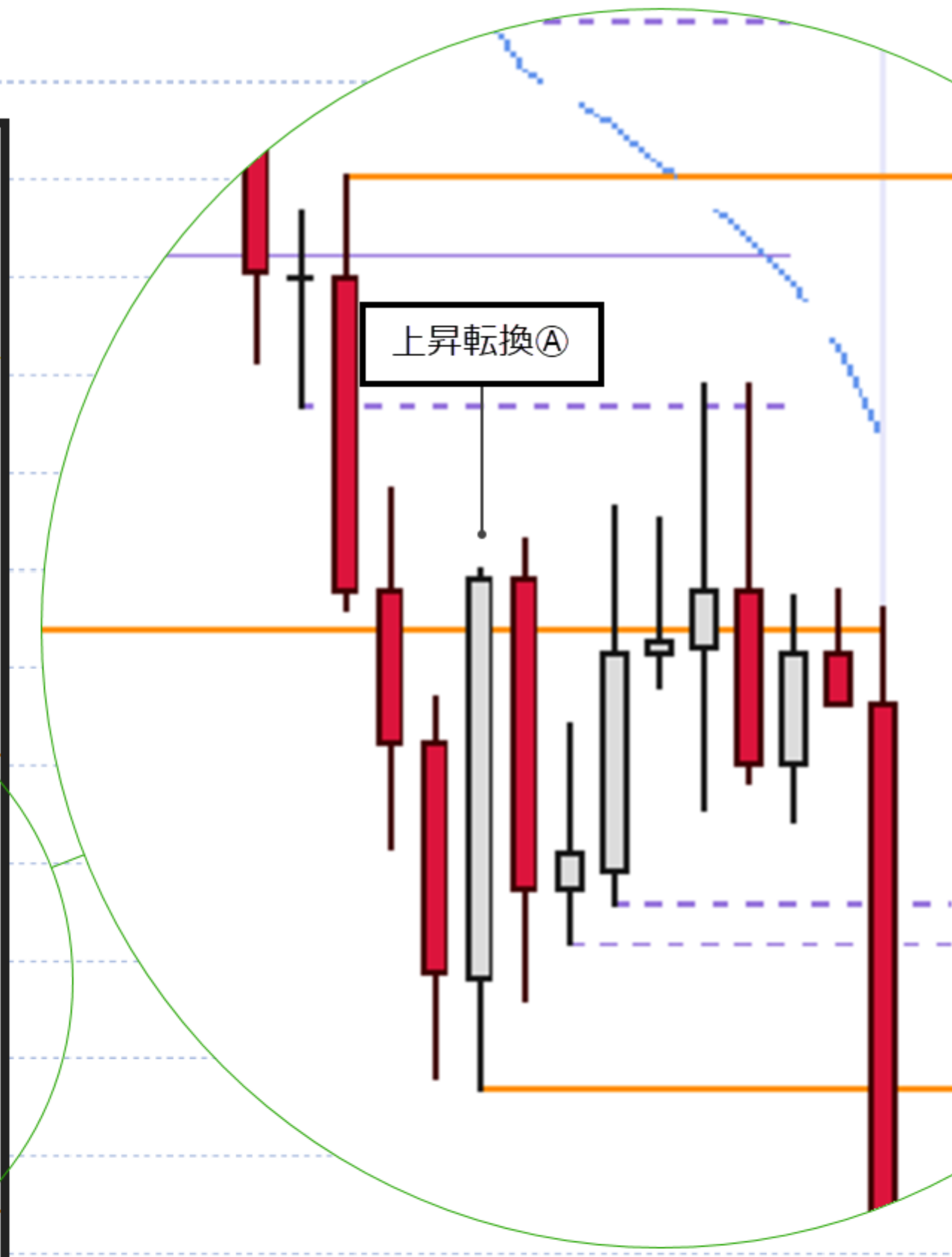
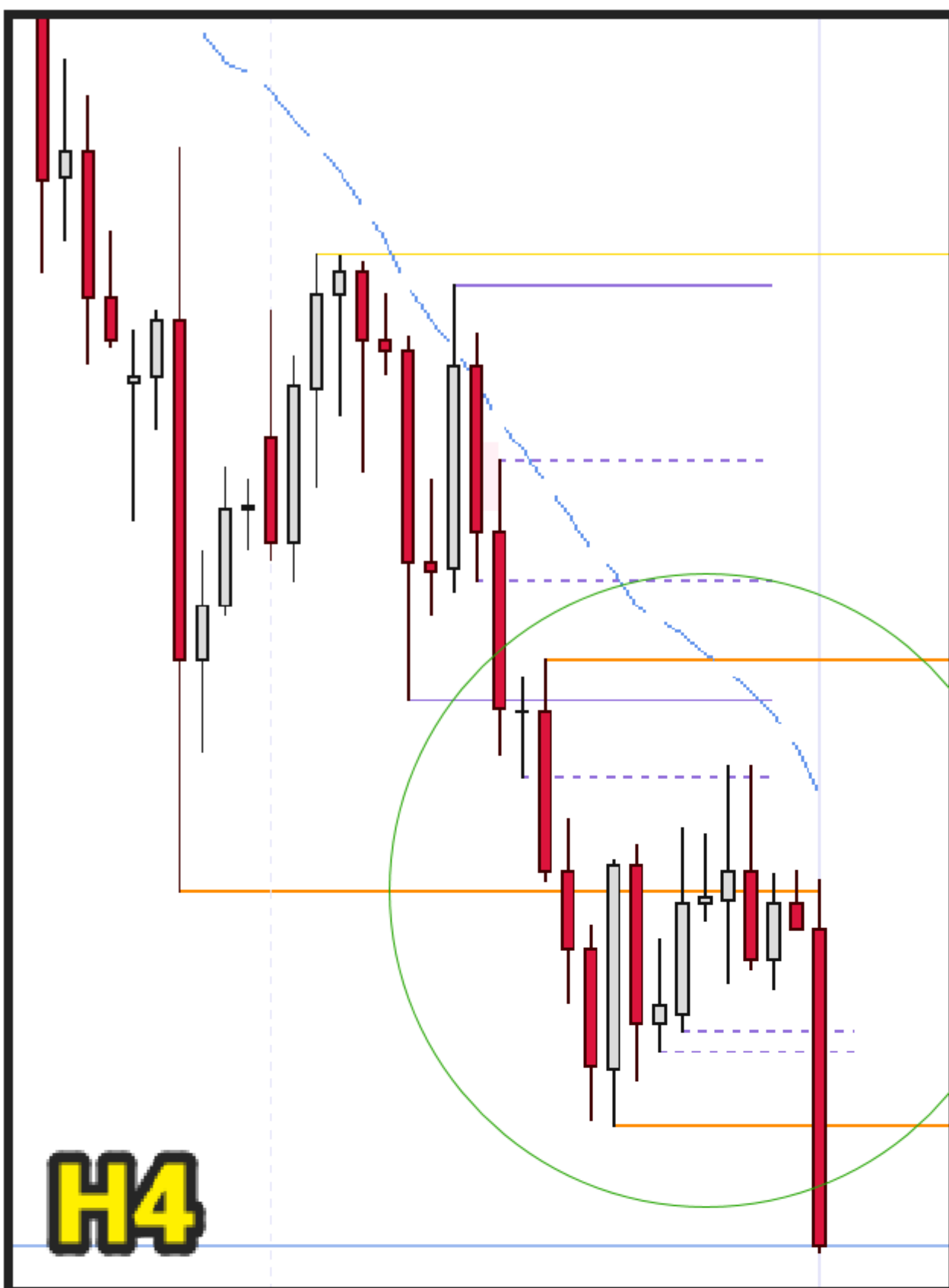
SUB: 2024/11/28(木)振り返り

DATE



### ■木曜日@10分足

やはりポイントは転換Ⓐだ。4時間足で陰線が連続3本立ったあとに大きく戻した陽線がこのⒶである。ということで長期を今一度確認したい。



この上昇転換の陽線に対し、一旦買い目線のスタンスをとるのか、転換失敗を狙っていくスタンスをとるのかで戦略は変わってくるが、実際どちらの視点も正しく、両目線でバランスよく見ていくことが大切になってくる。

この日も話しておきたいことが沢山ありすぎてレポート化が辛い…。ポイントは形成されていくレジスタンスボックスとサポートボックスの戦いになる。相場はいつも上記チャートのように「どこか」と「どこか」がせめぎ合っている。そしてそのどちらが勝つ方が濃厚なのかを考えてエントリーしていく。例えばⒸのレジができた時にⒸに突っ込む上昇が発生した。しかしその時には既に上昇を支えるサポートボックスⒹが完成している。4時間足の背景状況から言えばサポⒹは抜かれる可能性も十分考えられた。しかしⒹはサポートされた。そしてその後、この右側で答え合わせの動きができる。わたしはここにプラスの根拠として移動平均線を用いている。GCが起きていればⒹが勝った時のロングに根拠が追加されるという具合だ。